

# 「分析化学」 年間特集「膜」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では、2010年より新しい試みとして「測定対象」をテーマとする「年間特集」をスタートさせました。本企画ではテーマに関連する論文を、年間を通じて募集・掲載します。これまでの年間特集である「水」、「土」、「火」、「空」、「金」、「生」、「超」は、多くの方々のご協力を頂き大変充実したものとなりました。また、本年の年間特集「光」も順調に進行しております。心よりお礼申し上げますとともに、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、今回9年目を迎える2018年のテーマを「膜」に決定いたしました。多くの研究者が、シリカ、カーボン、金属などの無機膜や、生体分子を含む有機高分子を素材とする有機膜を利用してきました。分析機器が十分に発展した現代においても、依然として高精度かつ高感度分析には、ろ過、濃縮、精製など、膜を利用した前処理が重要となります。また、イオン感応膜、酵素、核酸、抗体などのバイオアフィニティー膜、ガス感応膜など、機能性が付与された膜により様々な分析技術が開発されてきました。それに伴い、表面形態の観察、表面分析、および物性分析に関する様々な技術により、膜の物性や機能が評価されてきました。一方、生体膜機能を理解するために、膜を構成する糖質、脂質に加えて、受容体やトランスポーターなどの膜タンパク質を分析する技術も発展してきました。

本特集では、「膜」と「分析化学」の関わりを、基礎・応用を含め幅広い観点から見渡し、社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第67巻(2018年)各号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「膜」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会に奮ってご投稿ください。

## 記

1. 特集論文の題目：「膜<sup>まく</sup> (membrane)」
2. 特集論文の対象：「膜」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。
  - 1) 膜を利用する前処理デバイスの開発、
  - 2) 高精度かつ高感度分析を目的とした前処理技術、
  - 3) 機能性膜を用いる分析法、
  - 4) 有機膜や無機膜の表面解析法、
  - 5) 生体膜機能の評価技術、
  - 6) 膜の構造と物性の評価など、タイトルやキーワードに「膜」を含む分析化学に関連した研究内容。
3. 論文の種類：総合論文、報文、技術論文、ノート、アナリティカルレポート。
4. 特集論文の投稿規定及び投稿の手引き：一般論文に準拠（「ぶんせき」2017, No.3, 又は <http://www.jsac.jp/sites/default/files/bunka/toko-j.pdf> 参照）。
5. 特集論文の審査方法：一般論文に準拠。

6. 特集論文の申込方法：投稿カード（Excel ファイル）に所定の事項を記入（種目欄には論文の種類、特集名「年間特集論文(膜)」を選択する）し、編集委員会あてに電子メール添付にてお申し込みください。投稿カードのうち、題名、著者名は暫定のものを記入し、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。投稿も電子メールにてお願いします。投稿はテンプレートによる投稿要領 (<http://www.jsac.jp/node/51>) をご参照のうえご投稿ください。
7. **特集論文原稿締切：2018年 6月 8日（金）（第3期）**  
年間特集「膜」は3期に分けて原稿を募集します。今回は第3期の募集です。原稿は随時受け付けておりますが、早目のご投稿をお願い申し上げます。
8. 特集論文の掲載：期限以内に審査を通過した論文は年間特集論文として「分析化学」第67巻(2018年)各号の冒頭に掲載します（原則として単行の特集号は除きます）。ただし、その他の論文は一般論文として第68巻(2019年)第1号以降に掲載します。
9. 特集論文に関する問い合わせ先：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304号 (公社) 日本分析化学会「分析化学」編集委員会 [電話：03-3490-3537, E-mail：bunkatoukou@jsac.or.jp, URL = <http://www.jsac.jp/bunka>]

★「分析化学」誌別冊頒布のお知らせ

(詳しくは学会ホームページをご覧ください。) <<http://www.jsac.jp/node/49>>

第59巻年間特集「水」

第60巻年間特集「土」

第61巻年間特集「火」

第62巻年間特集「空」

第63巻年間特集「金」

(なお、第64巻年間特集「生」以降は別冊を作成しておりません。)